



学校だより

6月号

HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/motoishikawa/>

横浜市青葉区美しが丘4-31-1

TEL 045(902)1821

季節を楽しむ心

校長 鈴木 彰

梅雨の季節に入ります。外遊びが大好きな子どもたちは ぐっかりする日が増える季節です。でも梅雨は、日本人にとって、昔から様々な農作業に必要な大切な水資源であり、雨を楽しみ四季を楽しむ心を育てる価値ある季節でもあります。



先日、4年生の子どもたちと「季節の言葉（春の楽しみ）」の学習をしました。子どもたちは笑顔でいきいきと学んでくれました。一方、春の美しさを表す言葉や生命が育つ様子を表す言葉にたくさんふれた2時間は、私にとっても楽しいひとときでした。四季を感じる日本人は、その美しさを本当に多様に表現するものだなあと感心し、私自身も大きな学びになりました。

梅雨の季節。



「雨」にも、たくさんの表現があります。雨の様子を表す言葉は世界の中でも日本語が最も多いといわれています。「ザーザー」と降る。「ぱらぱら」降る…。みなさんはいくつ言えますか？

「バラバラ」「ザーッ」「ピチピチ」「ポトポト」「ピチャン」「ざんざん」「しとしと」「ぽつぽつ」「ちゃぷちゃぷ」「ざかざか」「ばあっ」「しっとり」「じくじく」。まだまだ、たくさん。

「ザーザー」というのは、音なのでしょう。「シトシト」という雨の音は聞いたことがないので、「しとしと」降るのは、きっと雨を感じる日本人の心が生み出した表現でしょう。

季節を表す日本の擬音語・擬態語(オノマトペといいます)は本当に素晴らしいのですが、毎日忙しく過ごし、最近では戸外に落ちる雨の音を味わう時間をもてない人が増えています(私その代表です…。)。時代が変わっても、季節を楽しむ心を持ち続けたいですね。

「雨のよび方」も様々です。

黒雨(こくう)・・・空が黒く見えてしまうほど降る大雨。

紅雨(こうう)・・・花に降り注ぐ春の雨。

白雨(はくう)・・・激しく地面を打つ様子が白く見えるほどの強いにわか雨。

涼雨(りょうう)・・・涼しさを感じられるような夏の雨。

天泣(てんきゅう)・・・空に雲が見えないのに降る雨。



季節を表す言葉は、季節を楽しむ心から生まれます。子どもたちが、日本の美しい四季を感じることができるような子育てをしていきたいものですね。